

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表（公表）

公表： 2024 年 2 月 15 日

事業所名：こどもサポート教室「きらり」豊中駅前校

| | | チェック項目 | はい | どちらともいえない | いいえ | 改善目標、工夫している点など |
|----------|---|---|----|-----------|-----|---|
| 環境・体制整備 | ① | 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか | ○ | | | 4名同時支援となると声の大きさ等で集中注力が散漫になりがちだが、パーテーションの組み合わせ方や職員の声かけ等を共有し、できる限りの工夫を凝らしている。 |
| | ② | 職員の配置数は適切であるか | ○ | | | |
| | ③ | 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか | ○ | | | 今後、スロープやスライドドア、トイレも男女共有のため増設の必要が出てくるかもしれない。 |
| 業務改善 | ④ | 業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか | ○ | | | 職員全員で目標設定に参画出来ている。 |
| | ⑤ | 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか | ○ | | | 今後ともアンケート結果を基に、最大限の業務改善を目指していきたい。 |
| | ⑥ | この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか | ○ | | | |
| | ⑦ | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか | ○ | | ○ | 現在は実施していないので、今後実施を検討していきたい。 |
| | ⑧ | 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか | ○ | | | 毎年基礎研修を会社内（事業所内）で行っている。 |
| 適切な支援の提供 | ⑨ | アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか | ○ | | | 3か月～6か月周期で必ず分析も行い、計画を作成している。 |
| | ⑩ | 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか | ○ | | | 社内で統一し標準されたアセスメントツールを使用している。 |
| | ⑪ | 活動プログラムの立案をチームで行っているか | ○ | | | 校舎職員全体で活動プログラムを立案している。 |
| | ⑫ | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか | ○ | | | 本人の情緒面を考慮しながら適宜工夫している。 |
| | ⑬ | 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか | ○ | | | 基本的に週1回の利用が多いが、各教育機関の休暇に合わせて課題を細かく設定している。 |
| | ⑭ | 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか | ○ | | | 集団生活を軸としながら支援計画を作成している。 |
| | ⑮ | 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか | ○ | | | 支援当日ないし前日までには支援内容の確認と役割分担を確認している。 |
| | ⑯ | 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか | ○ | | | 全職員が全ての利用者への支援が出来る体制としているので、必ず共有する時間を設けている。 |

| | | | | | |
|--------------------------|---|--|---|---|---|
| | ⑰ | 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか | ○ | | 毎日支援計画の作成を行っており、要望があれば開示している。 |
| | ⑱ | 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか | ○ | | 3か月～6か月周期で作成している。 |
| | ⑲ | ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っているか | ○ | | |
| 関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携 | ⑳ | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか | ○ | | 担当指導員と児発管が参画している。 |
| | ㉑ | 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか | ○ | | 各教育機関との情報共有は必ず行っており、関係機関連携会議の実施へ繋げている。 |
| | ㉒ | 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか | | ○ | 現在、対象児はいないが今後そのような場合には体制を整えていきたい。 |
| | ㉓ | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか | ○ | | ご家庭や教育機関等からご要望があった場合には必ず行っている。 |
| | ㉔ | 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか | ○ | | ご家庭や教育機関等からご要望があった場合には必ず行っている。 |
| | ㉕ | 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか | ○ | | 定期的に各センターへ出向き、助言や研修を受けている。今後は管理者だけでなく指導員も積極的に参加できるよう環境を整えていく。 |
| | ㉖ | 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか | | ○ | 今までにご要望等もなく、現時点では「必要性を感じない」とのご意見が多い為実施は考えていない。 |
| | ㉗ | （地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか | ○ | | 市から招集があった際には積極的に参加している。 |
| | ㉘ | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか | ○ | | 支援中ないし支援後に共通理解が持てる時間を設けている。 |
| | ㉙ | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか | ○ | | ご要望があった利用者保護者のみ家族支援プログラムの立案を行っている。 |
| 保護者への | ⑳ | 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか | ○ | | |
| | ㉑ | 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか | ○ | | |

| | | | | | | |
|---------|----|---|---|--|---|---------------------------------------|
| 説明責任等 | ③② | 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか | ○ | | | 各教育機関に出向いて行うこともある。 |
| | ③③ | 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか | ○ | | | |
| | ③④ | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか | ○ | | | |
| | ③⑤ | 個人情報に十分注意しているか | ○ | | | |
| | ③⑥ | 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか | ○ | | | |
| 非常時等の対応 | ③⑦ | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか | ○ | | | |
| | ③⑧ | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか | ○ | | | |
| | ③⑨ | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか | ○ | | | |
| | ④① | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか | ○ | | | |
| | ④② | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか | ○ | | | |
| | ④③ | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか | | | ○ | 食事提供は行っていないが、その様な場面ではしっかり確認し対応していきたい。 |
| | ④④ | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか | ○ | | | |

保護者等向け 放課後等デイサービス評価の集計結果（公表）

公表： 2024年 2月 15日

事業所名：こどもサポート教室「きらり」豊中駅前 校

保護者等数（児童数）： 65 回収数： 53 割合： 81.53 %

| | | チェック項目 | はい | どちらともいえない | いいえ | ご意見、ご意見を踏まえた対応 |
|----------|---|--|----|-----------|-----|---|
| 環境・体制整備 | ① | 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか | 49 | 4 | | |
| | ② | 職員の配置数や専門性は適切であるか | 53 | | | |
| | ③ | 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか | 45 | 8 | | |
| 適切な支援の提供 | ④ | 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画 ⁱ が作成されているか | 53 | | | |
| | ⑤ | 活動プログラム ⁱⁱ が固定化しないよう工夫されているか | 51 | 2 | | |
| 保護者への説明等 | ⑥ | 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか | 0 | 25 | 28 | 特に必要を感じておりません。 →生活や学校場面での交流や活動の機会が多いと思いますので本事業所では現状のまま運営させていただきます。 |
| | ⑦ | 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか | 53 | | | |
| | ⑧ | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか | 53 | | | |
| | ⑨ | 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか | 53 | | | |
| | ⑩ | 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか | 11 | 8 | 34 | 小学校の支援級親の会に無償で講和会を2回開催させて頂き、大好評でした。 →次年度も機会があれば積極的に開催させていただきます。 |
| | ⑪ | 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか | 50 | 3 | | 現時点で苦情や不満はありません。 →ご回答ありがとうございます。これからもしっかりと周知・説明に努めて参ります。 |
| | ⑫ | 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか | 53 | | | |

| | | | | | | |
|---------|---|---|----|----|----|---|
| | ⑬ | 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか | 14 | 28 | 11 | 何かある際は直接校舎へ聞いています。 →ご回答ありがとうございます。今後は定期的に HP や会報等での発信にも注力して参ります。 |
| | ⑭ | 個人情報に十分注意しているか | 53 | | | |
| 非常時等の対応 | ⑮ | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか | 49 | | 4 | |
| | ⑯ | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか | 49 | | 4 | |
| 満足度 | ⑰ | 子どもは通所を楽しみにしているか | 49 | 4 | | いつも楽しみに通所しています。 →これからも楽しく通所できる事業所である様に精進致します。 |
| | ⑱ | 事業所の支援に満足しているか | 53 | | | ご回答頂いたすべての皆様にこの様にお答えして頂きとても嬉しいです。これからも満足して頂けるよう精進致します。 |

i 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

ii

事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障害特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。